介護保険運営協議会委員の皆さまからのご意見

資料３

通し番号	質問等	考え方等	計画書変更
1	「目次」項目の最後の囲み枠・・・「高齢者保険・・・とＳＤＧｓ」 巻末＜資料編＞用語解説にも「ＳＤＧｓ」の介護関係要旨として語彙略記を転載しては。	用語についての説明は、該当ページで十分と考えており、用語解説には掲載しませんが、その内容を一部修正しました。	一部修正。
2	Ｐ５　災害や感染症対策に係る体制整備 ・・・自然災害と人災を区分し、より詳細な文言記載にしては。（自然災害への対応策誤認や遅延は人災化する）新型コロナウイルス（ＣＯＶＩＤ-１９）・エボラ出血熱・黄熱病等の感染症はウイルス感染、マラリア原虫や細菌による熱帯病等細菌感染症は明確に区分表記。	災害や感染症対策は、半田市地域防災計画や都道府県が定めた予防計画（感染症法第１０条）に体制整備が定められていますので、本計画には記載しておりません。	変更なし。
3	Ｐ１８　介護予防　　・・・（半田市独自項目）・・・ ・・・半田市独自項目内に何故か、一般的な「娯楽・教養」項目が無い。（脳トレ外化？） ・・・グラフ表記アンケート調査項目、Ｈ２８年度と令和元年度とのアンケート結果０.０内容に整合性乖離を感じる。　・・・もっと「健康寿命の延伸」趣旨を明記すべきです。	趣味・おけいこ事の有無とその内容は、健康とくらしの調査の項目で調査しており、この項目は介護予防を目的としてどのような施設が利用されているかを調査した項目です。また、31年度調査にあたり施設（場所）ではない項目の削除と拠点施設の新設等を追加しています。	表題を「介護予防を目的とした施設の利用について」と変更。 単年調査の項目は実施年度を明記する。
4	Ｐ４６　第４章（１）介護予防の推進　　「主な取組」の枠内最下段の・・・ 通所型サービスＣ（運動特化型）「理学療法士や柔道整復師・・・改善に取り組みます。」と	事業の実施方法についてのご意見として承りました。	変更なし。
5	Ｐ５１　Ⅲ（２）認知症の発症と進行を遅らせる予防の推進「主な取組」下段の通所型サービスＣ（認知症特化型）「認知症の予防…支援します。」との統合「取組」が望ましい。 ・・・現在、半田市内にて既に実証済みの行政試行サービス「コグニサイズ」講座の普及活動が行われ、謂わば、心身不分離の「脳トレ」と「ロコモ予防運動療法」が同時に体感できる「フレイル」解消講座が開催されています。　（現在、コロナ禍にて自粛休止中講座・・・） 当「コグニサイズ講座」に、Ｐ４６の柔道整復師・鍼灸師等の医療類似行為医師や作業療法士の参画を踏まえた「寿命の延伸」為の「新コグニサイズ」講座を画策しては如何かと・・・。 ・・・両事業を統合すれば、良好な協働関係が生まれ、自発自立な高齢者同好会「寿命の延伸」コグニクラブ発足進展普及にも拍車がかかります。	事業の実施方法についてのご意見として承りました。	変更なし。

通し番号	質問等	考え方等	計画書変更
6	Ｐ４９（２）住民相互の支え合い　「主な取組」枠内１項目、生活支援コーディネーター・・・ 「・・・日常生活圏域（＝中学校区）ごとに１人ずつ配置します。」 ・・・これは市政施策担当者の勘違いか現況無知としか思えないほどの現状無視です。 　単純に、行政学区数を見据えただけの区分けであり、伝統的な地域習俗生活文化圏域を全く無視し、既存の地域コミュニティ活動の現状を愚弄した配置人数です。 少なからず、小学校区割り人数相当の「地域福祉活性化コーディネーター」とするべきです。 　現行政担当者各位は兎角、「縦割り行政は良くない」と言いながらも、結局は、法人格を持った福祉事業社やボランティア組織に依存仕切って、施策執行業務を「丸投げ」施行しているのではないだろうか。・・・少なからず従前来の「コミュニティ」区域活動を主軸に相当人数の行政担当者配置参画の下に支援し、地域内の各互助組織を完成すべきであろう。	他課の事業ですが、地域担当職員が希望する区に配置されており、コミュニティ活動を協働で推進しています。 生活支援コーディネーターは、高齢者の生活支援を行うにあたり、公的ではないサービスの情報提供や取りまとめ役として各中学校区ごとの配置、計5人が適切と考えております。	●修正(P.50) 生活支援コーディネーターを引き続き、日常生活圏域（＝中学校区）ごとに１人ずつ配置し、地域組織やボランティア、民間企業の地域貢献事業など多様な主体が生活支援サービスを提供できる地域づくりを進めます。
7	Ｐ６３　３ 居宅・介護予防サービス・・・（１）訪問介護（ホームヘルプサービス） 　訪問介護サービスに地域格差は否めないものの、半田市での、その充足率は如何なものか。要支援者・要介護者を問わず、ケアマネージャーのケアプラン施行実績の評価は如何か。 　今、一度、現行介護保険制度への経験的評価をケアマネージャーへのアンケート調査より真意を垣間見てはどうか。・・・半田市認定被介護者への支援サービスの過不足は如何に。	訪問介護サービスの充足率について、人口10万人当たりの事業所数で比較すると知多５市の中では一番事業所数が多くなっています。しかしながら市内事業所へのアンケートでは、最も不足を感じているサービスとなっており、８期の中で制度の整備が必要と考えています。	―
8	Ｐ３８　「課題」一項目の二行目（最後より７行目） 　○一般高齢者・・・身近なものであることの普及が必要です。 　　挿入語 ・・・ことの周知普及が必要です。	「周知」は広く人の間を知れ渡るそのこと（状態）を示し、「普及」は広く一般に行き渡ること（状態）、行き渡らせること（働きかけ）を意味するため「普及」と表記します。	変更なし。
9	Ｐ４０　○令和元年度・・・調査では・・・ACPの理解促進の図っていく必要があります。 　　ACPの理解促進を図っていく必要があります。	―	P.40「理解促進を図っていく」
10	○半田市高齢者保健福祉計画・第８期介護保険事業計画（案）概要版について 　８行目（９．１０行）「半田市では・・・・・が終了します。」　・・・を、 「半田市では、高齢者福祉に関する施策を総合的に推進するため、３年を１期とする『半田市高齢者保健福祉計画』を策定しており、第７期は令和２年度で終了し、今期は住民一人ひとりの暮らしや生きがいを地域とともに創る『地域共生社会』の実現が求められます。」 　理由：本冊子が発刊される頃が、第７期の終了時期だから。　・・・に改訂	ご指摘の文書以降で、8期計画の内容に触れているため、このままとします。	変更なし。

通し番号	質問等	考え方等	計画書変更
11	３　人口の推移と推計 本稿についても言えることだが、高齢者年齢別にて健常者と要支援者及び要介護者への認定比率算出掲載を希望します。・・・「健康寿命の延伸」努力成果の確認が可能になる。 本稿Ｐ６１・６２の埋草に上記「認定比率算出」表を追加挿入のこと。	前期・後期高齢者別の認定者数を掲載します。	P.62上段の表に追記
12	質 問　Ｐ７２（３）介護療養型医療施設・介護医療院　・・・ ・・・下段囲み枠項目は、医療保険と介護保険での重複利用患者数なのだろうか？ もし、その主旨であれば、本項目は削除された方が良いのではないか。	上段の介護療養型医療施設は、令和6年度末でに介護老人保健施設等に転換することとなっているため、下段の介護医療院に振り替えています。	変更なし。
13	P.5 ⑦災害や感染症対策に係る体制整備 ○「近年・・・、新型コロナウイルス感染症・・・」を新型コロナウイルス感染症に（ＣＯＶＩＤ１９）を追加挿入 　理由・・・ウイルスもバクテリアも地球創生後の太古より存在している旨、変異種を「新型」とは日本語「方言」の嫌いが顕著なため。	ご指摘のとおり追記いたします。	P.5「新型コロナウィルス感染症（COVID-19）」
14	P.14 最下段「網掛け」全文章（コメント）が大変怪しい・・・？ 「平成２９年３月から・・・しました。その主な要因として、・・・思われます。」 ・・・赤字文章を削除又は変更・改訂しては・・・ 理由・・・今期は終戦７５年で、丁度、前期高齢者・後期高齢者との境目の年です。当時の食生活事情を鑑みるに、現在の後期高齢者は戦前・戦中生まれで、生誕後の身体成長期（幼少・就学期）には大変な食糧難でした。ペニシリンと学校給食が戦後の団塊世代を創った。現前期高齢者の後期高齢者化する頃にはより安定した指標・評価が期待できると考察する。 ・・・もし、同文を存文するなら、Ｐ４８[主な取り組]の囲み下枠外にコメント記載するのがより良い方策です。	実績についての考察のためP.14に残したいと思います。	変更なし
15	P.24 旧原稿の統計グラフのみの「差し替え」影響により、各解説コメントごとの解釈に誤記支障が生じています！？。また、「計画の基本理念と基本方針」 Ｐ４２以降には網掛け文章変更以上に文章の削除・改訂があります。 ・・・　要再確認　・・・ ◎外出頻度の昨年との比較について・・・「令和元年度調査では・・・の割合は合わせて１６，３％となっています。」が、４６，７％です。	数値の計は16.3%であっています。	変更なし

通し番号	質問等	考え方等	計画書変更
16	P.41 基本方針５「その人に会った・・・の提供」についての課題」「市の現状」○２項「在宅介護における・・・６０歳以上の介護者が６割以上を占めています・・・」は、Ｐ３１参照で、５９．０％です・・・約６割・・・	数値の計は60%ですが、表記は約6割に改めます。	6割以上　→　約6割
17	P.48 （２）生きがいづくりと社会参加の促進 「新しい感染症・・・目指します。」は、諸感染症・・・に。 　理由・・・日本に入ってくる「感染症」に新旧は無い。・・・かつては、伝染病⇒敗血症？⇒感染症等に呼称変化している。また、国内には熱帯病医療専門家はほとんど居ない。（中部空港開設時に熱帯病医療専門家設置 を提案したが？・・・無駄だった！・・・	新型コロナウィルスをはじめ、今後新たに発生しうるものを指しており、このままの表記とします。	変更なし
18	P.62 （２）認定者数の推計「認定者数は、・・・令和７年度には５，７００人を上回る・・・認定率は・・・１９，１％と見込まれます。」との「数値」？ 第８期介護保険事業計画は令和３－５年の事業計画であり、９期目を予測する必要もなかろうが、２０２５年・令和７年頃の「団塊世代」の全後期高齢者化を危惧しての発想であろう。しかし、ここに推敲されている統計解析の根拠に多少の疑義が生じます。旧原稿（Ｐ６２）の統計には５，５４３人で、９．２％の推計試算が可能です。　・・・発出根拠変更の是非も無く、この記載数値には「高齢化社会」動向に不安を与える以外、作成者の何の恣意も窺えない。 ・・・従って、本稿は見出しのみ残して、コメント部分の全文削除を希望します。	数値の説明をさせてもらった上で、文言はこのままとさせていただきたいと思います。	変更なし
19	P.52 [主な取り組]　内容内下段「認知症の予防・・・（３行目・・・ ・・・予防教室の実施し、・・・」を「予防教室を実施し、・・・」	字句誤り	修正します
20	Ｐ５で高齢化率が知多半島の他の４市５町に比べどうなっているのか？	知多5市においては、大府20.7、東海21.2、半田22.9、常滑25.0、知多25.3の順に高くなっています。（2015年度国勢調査データのため計画値と若干違います）	―
21	P26で最期を迎える場所について、平成28年度に比べ令和元年度で、「わからない」が19.8%から30.0%に増加しているのが気になった。	調査結果への意見として承りました。	変更なし。
22	（要望事項）P23で外出頻度の比較について、令和元年度と２年度の比較をぜひとも行ってほしい。（新型コロナウイルス禍の影響が現れると思うから）	要望として承りました。	変更なし。

通し番号	質問等	考え方等	計画書変更
23	80・50問題の半田市の実態を知りたいと思う。	要望として承りました。	変更なし。
24	基本方針Ⅱ（１）安心して暮らし続けるための支援だけアンケート調査の数値が記入されているのか？	ご指摘を受け、修正いたします。	アンケート数値削除
25	各基本方針の最後にチャレンジ項目があるが、どのような意味合いがあるのか。それぞれの項目で違うような気がする。	全体を見直し、文言等修正します。	修正
26	P15：日常生活圏域ごとの現状の表に特養入所者も含まれているか？含まれているのであれば表外に「入所者数込み」と記入した方がよいのではないか。	入所者数を含んでおり、その旨追記します。	追記
27	P16：前回の資料では平成28年度の特徴が記入されていたが、今回の資料ではコメントが削除されています。その根拠は？ できれば28年度と元年度を比較して記入してくださると変化がわかるのではないでしょうか？	平成28年度と令和元年度の経年比較を追記します。	追記
28	P31：在宅介護実態調査の中で「◎主な介護者の本人との関係について」のグラフですが、可能であれば男女がわかるとよいのではないでしょうか？	この項目については、男女別のクロス集計がありません。	変更なし。
29	P.43 住民相互の力を人出して　→　字句誤り	人出して→引き出して	修正します
	P４（２）第８期計画において推進すべき事項について		
30	②「地域共生社会の実現」について ・「平成30年度の制度改正により地域での包括的な支援体制や多世代での共生型サービスが創設され、本計画でもこの考え方を取り入れ、実現に向けた考え方や取組を検討・推進する」（P89）とありますが、誰が何をどうするのか、具体的にご提示ください。	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備については、推進を図るべく地域福祉課を中心に検討中ですので、本計画において示されるような文言は誤解を招くため、削除いたします。	削除
31	③「介護予防・健康づくり施策の充実・推進」について ・「PDCAサイクルに沿った推進にあたり、データの利活用を進めることやそのための環境整備について検討・推進する」（P4）、「事業活動における管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の 4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善するものです。」（P92）とありますが、問題解決への基本ステップを確立し、計画（テーマ選出、現状の把握・目標の設定）→実施（問題点摘出と解析、対策の検討・実施）→評価（成果の確認・一定期間チェック）→対策の標準化（まとめ・標準化）→完結報告（体験発表、活動の反省他）を有効に活用し、業務改善を図ってこの度の事業目標を完遂したいと願う。（別添資料有）	事業の実施方法についてのご意見として承りました。	―

通し番号	質問等	考え方等	計画書変更
	P47（２）生きがいづくりと社会参加の促進について		
32	・「通いの場（げんきスポット）活動」と「老人クラブ活動」の相違点と支援内容をご提示ください。	―	●修正(P.48) 「地域住民が介護予防のために活動する通いの場「げんきスポット」の運営を補助します。」 「老人クラブの活動に対し、運営を補助するとともにＰＲに努め、高齢者の社会参加を引き続き推進します。」
	○老人クラブ自体の早急な見直し改善について		
33	・老人クラブ会員の意識改革と「報告・連絡・相談」の促進、書記機能を充実させて記録の作成・保存を確実に行なって、クラブの実態・魅力を発信、アンケートによる会員の意向を把握し、活動に役立てる必要がある。（別添資料有）	老人クラブに対し、引き続き助成事業の対象となっている活動が円滑に行えるよう協力してまいります。 老人クラブ自体の改善等については、半田市老人クラブ連合会のリーダーシップの下、実施されるべきと考えております。	修正なし
34	・誰が助言・指導するかの明記・会員の意見交換会・「つくり・育てる人材づくり」		
35	・指導力・統率力・判断力・自立性のある若手リーダーの発掘と研修会・講演会受講による後継リーダーの養成のあり方について、PDCAシステム／改善への基本ステップの流れで、課題・問題点に取り組み、業務改善を行なって関係者がリーダーの確保に努める。		
36	・高齢介護課の事務事業評価と助言・指導について 　実施事業分の評価はCランクで、平成20年度から改善推進と今後の事業の方向性も変化なく経過しており、助言・指導と対策を考え、改善する必要を感じますが？		
	P86　第６章　計画の推進・評価体制について		
37	「1. 計画の推進」について、関係機関で実施スケジュール表を作成し、確認するのですか？	事業評価については、令和3年度から、現在の事業計画等策定部会を評価推進部会に改め、その中で評価していく予定です。	―
38	「2. 計画の評価」について、ＨＰ事業評価表の自己評価欄の変更、それとも全体の様式が変更されるのですか？		
39	Ｐ５⑥菅内閣になってデジタル庁ができました。もう少し、踏み込んだ内容になるべきではないか。	P.55「介護人材の確保・定着」において、ICTの活用による業務負担の軽減について加筆しました。	追記
40	Ｐ５⑥「ポイント制度」について、いつごろまでに素案ができますか？ 市会議員からの提案があり、それに応じるだけですか。	P.50チャレンジ項目「地域で支え合う生活支援について」検討する中で、本市にあう報酬制度のあり方を検討していきます。	修正なし

通し番号	質問等	考え方等	計画書変更
41	P38～39　認知症になってからの対策はよく行われていますが、健康な時での対策は取らないですか？ 40歳時、50歳時、60歳時・・・役所の時間・方針で行うのではなく、市民の時間・考えで認知症の知識などを学んでもらうことは？	認知症サポーター養成講座を通じて、大人から小中学生まで認知症に関する知識の普及や理解を進めています。また、生活習慣病対策は将来の介護予防や認知症予防につながるため、各種保健事業と連携し進めています。	（関連ページP46、P51）
42	講演会を案内するのではなく、学習教材を渡して、高齢介護課が修習度を確認する仕組みを作ってはどうか？	事業の実施方法についての提案として承りました。	修正なし
43	災害対策（や感染症対策）については、資料説明にあったように「地域防災計画に明記」している旨、関連する半田市他計画等の名称が、本計画に名称記載されると、よりわかりやすく市民に伝わると感じました。	総合計画はじめ関連計画については、６Pに記載しておりますが、本内容は他計画に記載するべき内容であり、関連計画との位置づけにはならないと考え、計画名の記載はしないこととします。	変更なし